

「婚姻届」記載上の注意事項及び記入例

- 届書は日本文字（漢字、カタカナ、ひらがな）で書いてください。略字又は符号は使えません。
- 届書は鉛筆や消えやすいインクで書かないでください。
- 署名以外の部分は、パソコン等により入力・印刷したものでも可能です。
- 誤ったときは従前の文字が判別できるよう二重線で削除し訂正した上で、その訂正等した字数を欄外に記載し、訂正箇所が判読できるように署名又は押印してください。修正液や修正テープは使えません。
- 届出年月日**は届書を在外公館長（在ボリビア日本国大使）に提出する日であります。届書を郵送して提出する場合は、届書を記入した日を書いてください。窓口へ持参の場合は、窓口へ提出した日を記入してください。
- 以下の（ ）内の数次は婚姻届書の左側に記載されている番号と一致しています。

(1) 【氏名】と【生年月日】

- 日本人の夫又は妻については、戸籍に記載されているとおりの氏名を記入してください。
- 外国人の氏名は、出生証明書に記載のとおりフルネームを「姓」、「名」の順序によりカタカナで記載してください。姓と名の間にカンマ（,）を付して区別してください。「氏」の父方姓と母方姓の間又は「名」のミドルネームに「・」（なかてん）等を使用しないで、そのまま続けて記入してください。
- 「**生年月日**」：日本人については「**元号**」（平成、令和など）で、外国人については「**西暦**」で記載してください。

(よみかた)	夫 にな る 人		妻 にな る 人	
	がいむ		いちろう	
氏 名	氏	名	氏	名
	外務	一郎	ロハスペレス	マリア
生 年 月 日	昭和 63 年 10 月 4 日		1990 年 5 月 3 日	

(2) 【住所】

- 「**住所**」：在留国の現住所を日本文字（漢字、カタカナ）で日本方式に国名から順に番地までを正確に記載してください。
- 「**世帯主の氏名**」：婚姻届を提出するときに、既に同居をしている場合は、世帯主となっている夫妻のいずれか又はその他（同居している親）の人の氏名を記入してください。
世帯主が外国人の場合は、フルネームを「姓」、「名」の順序によりカタカナで記載してください。姓と名の間にカンマ（,）を付して区別してください。

住 所	ボリビア国〇〇県〇〇都〇〇市〇〇通り		同左	
	5 番地			
	世帯主 の氏名	外務 一郎	世帯主 の氏名	

(3) 【本籍】

- 日本人の場合、婚姻時の本籍・筆頭者氏名を書いてください。
- 本籍の記載については、《例》「東京都千代田区霞が関 **2 の 2**」又は「**2-2**」（ハイフン）を使用せず、「東京都千代田区霞が関**二丁目 2 番**」のように戸籍のとおり正確に記載してください。
- 外国人の場合、国名を記載してください。

本 籍 (外国人のときは 国籍だけを書い てください)	東京都〇〇区〇〇町二丁目 1 0		国籍 ボリビア	
	番地 番		番地 番	
	筆頭者 の氏名	外務 太郎	筆頭者 の氏名	

【父母の氏名】と【父母との続き柄】

- ア. 父母が日本人の場合は、戸籍に記載されている氏名及び父母との続き柄を記載してください。ただし、父母が婚姻中であれば、母の氏は記入せず、名のみ記載してください。

外国人の氏名は、出生証明書に記載のとおりフルネームを「姓」、「名」の順序によりカタカナで記載してください。姓と名の間にカンマ（,）を付して区別してください。

父 母 及 び 養 父 母 の 氏 名 父 母 と の 続 き 柄 右記の養父母以外にも 養父母がいる場合には その他の欄に書いてください	父 外 務 太 郎	続 き 柄	父 ロハスママニ, ルイス	続 き 柄
	母 花 子	長 男	母 ベレスマイタ, アナマリア	二 女
	養父	続 き 柄	養父	続 き 柄
	養母	養 子	養母	養 女

(4) 【婚姻後の夫婦の氏】及び【新しい本籍】

- ア. 日本人同士の婚姻の場合のみ「夫の氏」、「妻の氏」のいずれかに☒チェックしてください。
- イ. 配偶者が外国籍の場合は、日本人の氏は変動しないため、☐にチェックする必要はありません。
- ウ. 婚姻により、日本人夫又は妻の新しい本籍の戸籍を編製するので、希望する新本籍を正確に記載してください。新しい本籍地の設定の可否については、設定予定の市区町村にあらかじめ御確認ください。
- エ. 日本人夫又は妻のいずれか一方が、既に戸籍の筆頭者になっており、その方の氏を称するときは新本籍を設定することはできないため、記入の必要もありません。

婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	☐ 夫の氏 ☐ 妻の氏	新本籍（左の ☒ の氏の人がすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください） 埼玉県〇〇市〇〇二丁目16 番地 番
----------------	--	--

(5) 【同居を始めたとき】

- ア. 結婚式を挙げた年月または同居を始めた年月のうち早い方を元号（平成、令和など）で記入してください。
- イ. 婚姻届書提出の際に未だ同居していない場合は、この欄を記入する必要はありませんが、届書の「その他欄」にその旨記載してください（【その他】のウ.参照）。

同居を始めた時	平成 26 年 10 月 （ 結婚式をあげたとき、または、同居を始め たときのうち早いほうを書いてください ）
---------	--

(6) 【初婚・再婚の別】

再婚の場合は、直前の婚姻解消について、配偶者の死亡年月日又は離婚の年月日を元号（平成・令和など）で記載してください。

初婚・再婚の別	☐ 初婚 再婚 （ ☐ 死別 平成 25 年 2 月 3 日 ☒ 離別 ）	☒ 初婚 再婚 （ ☐ 死別 年 月 日 ☐ 離別 ）
---------	--	--

(7) 【同居を始める前の夫婦のそれぞれの世帯のおもな仕事】

婚姻する前に、夫妻のそれぞれが属していた世帯の主な仕事について、該当すると思われる項目に（☒印）をしてください。

(8) 【夫婦の職業】

国勢調査の実施される年（西暦の末尾が 0 又は 5 の年）の 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までに届出の場合は記入してください。

夫婦の職業	（国勢調査の年... 年...の 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までに子が生まれたときだけ書いてください）	
	夫の職業 サービス職	妻の職業 事務職

【その他】欄

ア. ボリビアの法律により婚姻した場合は、「婚姻の成立年月日」（婚姻証明書に記載のとおり）、「方式」及び「婚姻証明書作成者の職名」等を次の例により記入してください。

その他	令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 ボリビア国 の方式により婚姻成立、○○市戸籍官吏 作成の婚姻証明書添付。
-----	---

イ. 日本人夫または妻の婚姻証明書と婚姻届の氏名が異なる場合は、氏名が異なる事由を記載してください。

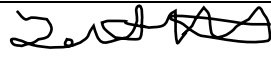
夫については、婚姻証明書に記載されている○○、○○と届書に記載されている○○は同一人である。 等

ウ. 婚姻届書提出の際に未だ同居していない場合は、その旨記載してください。

まだ同居を始めている。 等

【届出人】

- ア. 日本人の署名とは、氏名の自署を意味し、本人が自筆で自分の氏名（戸籍名）を手書きすることです。署名欄に署名してください。
- イ. 外国人配偶者については、サインの下にフルネームを氏、名の順序でカタカナでその氏名（ヨミカタ）を併記してください。外国人配偶者の署名は必ずしも必要ではありません。

届出人署名 (※押印は任意)	夫 外務 一郎 印	妻  ロハスベレス、マリア 印
-------------------	-----------------	---

（届出人の連絡先及び電話番号）

婚姻届書の最下段欄外余白に、届出人の連絡先及び電話番号を記入してください。